花とみどり　第16号

令和８年 10 月 30 日
飯塚市立庄内中学校
校　長　　岡松　範諭

庄内中学校 学校通信「文化祭特別号」
～文化祭で手に入れた　“新しい自分”～

【「プロセス（過程）」こそが、君たちの未来を拓く真の力】

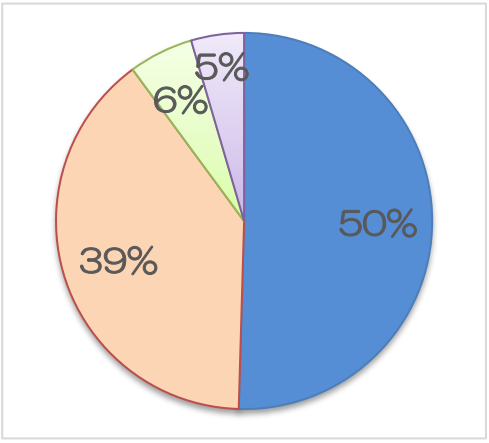
今年の文化祭で、私が皆さんに掲げた目標は「文化祭×自分のゴール ～文化祭の練習で手に入れる“新しい自分”～」。そして、全校生徒の皆さんは、一人一人が「自分の目標」を意識して取り組んでくれました。 そして、限られた時間の中で「最高の合唱を目指したい」と、ブロック長を中心に自ら考え、行動し、励まし合ってきました。また、有志企画では忙しい時間を工面して練習と準備に全力を注いできました。そしてこのことを、文化祭終了時に、君たちの目から溢れた涙が、この取り組みがいかに本気であったかを何よりも語っていました。

私は、「全力で取り組み本番の成功で感動すること」はもちろんですが、「課題に直面しても、仲間と協力して、何度も粘り強く考え、実行し、結果を受け止め、更に改善してきたプロセス」こそ、皆さんに身につけてほしかった力です。今回経験した、この「自律」と「共生」の力を、３年生は希望進路の実現に向けて、１・２年生は今後の学校生活や部活動へと繋げてください。

■ データで見る【Q2：個人の成長（自律の振り返り）】10 月 28 日現在

「自分の目標を意識して、自分で考え、判断し、行動できましたか？」

- **頑張って行動することができた**：50.0%
- **どちらかというとできた**：39.1%
- **あまりできなかった**：5.5%
- **できなかった**：4.5%



★約 89%の生徒が「自分で考えて行動できた」と実感。

■. 生徒のリアルな声【どのように考えて行動したか】

- 「指示を待つのではなく、練習内容を把握して自分から動くようにした。」
- 「ブロック長やパートリーダーが指示を出す前に、１・２年生が何をしていいか迷わないよう、自分から動いて周りに声掛けをした。」
- 「前までは勉強が苦手などの理由で自分から自主的にしようとは思わなかったけど、最近では少しずつ自分からすすんで勉強をやれるようになった。」

■. 日常生活・未来（進路）へのアプローチへ

「文化祭の成功」を自分事として粘り強く取り組んだプロセスを、次のステージの原動力に！

今回の「目標を持ち、自分で考えて動く」という経験は、受身の学習から「主体的な学習・進路開拓」へと脱皮するための第一歩でした。

- **３年生へ**：受検（受験）勉強は「指示されてやるもの」ではありません。「何が足りないか」「どう改善するか」を自分で見極め、文化祭で証明した粘り強さを進路実現にぶつけましょう。
- **１・２年生へ**：日々の授業や部活動でも、「次は何をすべきか」を察して動く主体性を発揮し、安心・安全で自慢できる庄内中を創り上げていきましょう。

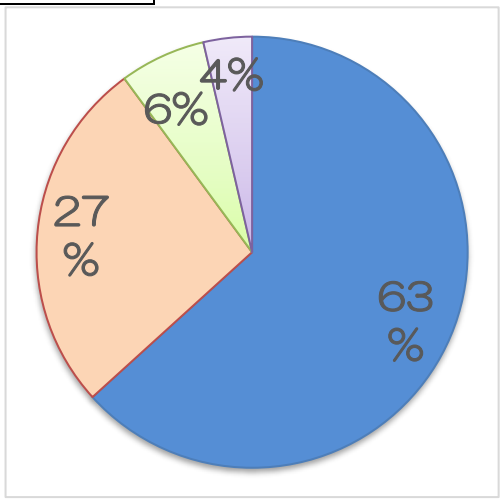
【「誰かの笑顔のために」動くことが、自分を一番大きく成長させる】

自分一人の力には限界があります。しかし、仲間の思いを自分事として捉え、支え合い、高め合う「共生」の姿勢があったからこそ、あの大感動のステージが生まれました。 見に来てくださった保護者や地域の方々、そして共に歌った仲間のために汗を流した経験は、社会で生きる上で最も大切な「人と協働する力」そのものです。

データで見る【Q4：他者への貢献（共生の振り返り）】10 月 28 日現在

「他の人の幸せや成功を『自分事』と考えて行動できましたか？」

- **できた**：62.7%
- **どちらかというとできた**：26.4%
- **あまりできなかった**：6.4%
- **できなかった**：3.6%



★実に **89%以上**の生徒が、他者への貢献や仲間を意識した行動ができたと回答しました。

■. 生徒のリアルな声【他者への貢献】

- 「見に来てくれたお客さんや保護者のために、楽しんでもらえるよう一生懸命に歌った。」
- 「頑張っている友達を全力で応援していて、結果が出た時わたしも嬉しかった。」
- 「泣いている友達や悔しがっている友達に、寄り添って前向きな言葉をかけた。」
- 「自分が教えられる教科やパートを、分からない人に丁寧に教えてあげるよう心がけた。」
- 「放課後まで残って頑張っていたパートリーダーや伴奏者と、一緒に歌の練習をした。」

■. 日常生活・未来（進路）へのアプローチ

「共生」の経験を、集団の力と強い人間関係へ！

- **仲間と高め合う集団へ**：一人の課題を学級・学年全員の課題として捉え、助け合えるクラスは強い力を発揮します。受験に向けた面接練習や日常の助け合い学習にも、この「共生」の姿勢を広げていきましょう。
- **感謝を形にする日常**：見守ってくれた保護者の方々や先生方、地域の方々への感謝の気持ちを、日々の気持ちの良い挨拶や丁寧な言葉遣いで返していきましょう。

最後に、「文化祭×自分のゴール」に向け挑戦したプロセスこそが、皆さんの財産です。
「できなかった」と回答した人も、その気づきが大切な成長です。
この経験を自分の夢や目標の実現、安心・安全な学校創りへ、一緒に繋げていきましょう！

より一層信頼される学校づくりに向けて、

これからも一層、生徒・保護者・地域の皆様から、信頼される学校づくりを目指して、教職員一同で以下の点を再確認いたしました。

■不祥事を絶対に起こさないよう、風通しの良い職員集団を築いていくこと。

■生徒一人ひとりとの信頼関係の構築を大切にし、生徒が安心して学ぶ事ができる学校を目指すため、言葉遣いに気を付け配慮ある姿勢で生徒に接していくこと。

生徒たちが明るく安心して学び、笑顔で過ごせる学校を目指し、今後も全力を尽くしてまいります。皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。